

国境越える相互扶助

AMDA活動報告

救える命があれば

いつでも

菅波 茂

自然の不条理を嘆くへ
われた(十七日現在)。
被災者の数は天文学的で
さか。

二〇〇四年十二月二十
六日に発生したスマトラ
島沖地震・津波は二百年
に一度といわれている規
模である。この津波の被
害は甚大である。およそ
十八万人の命が一瞬に矢
一世紀は災害により多く



すがなみ・しげる 1
946年生まれ。広島県
出身。岡山大学大学院医
学研究科修了(公衆衛生
開発の実績がある)。

スマトラ沖地震

□1□

の人たちが命を失う悲しい
一曲かもしれない。

AMDAは、二十四時
間態勢の被災者緊急救援
活動を実施している。A
MDAインターナショナル
のうち、九カ国の海外
支部と岡山の本部が同時
期に連携するのは、一九
八四年に発足して以来、
最も大きな枠組みであ
る。

救援活動は主として、
巡回診療、仮設診療所設
置による診療、感染症対
策を目的とした巡回健康
衛生教育、さらには病院
機能復旧支援等である。

現時点で、三カ国の被
災国に十カ国が協力して
すでに延べ八十人以上の
スタッフを送りこんでい
る。

インドネシアのバンダ
アチエにはインドネシ
ア、台湾、カンボジア、
カナダの各支部と日本か
ら、スリランカの北部、

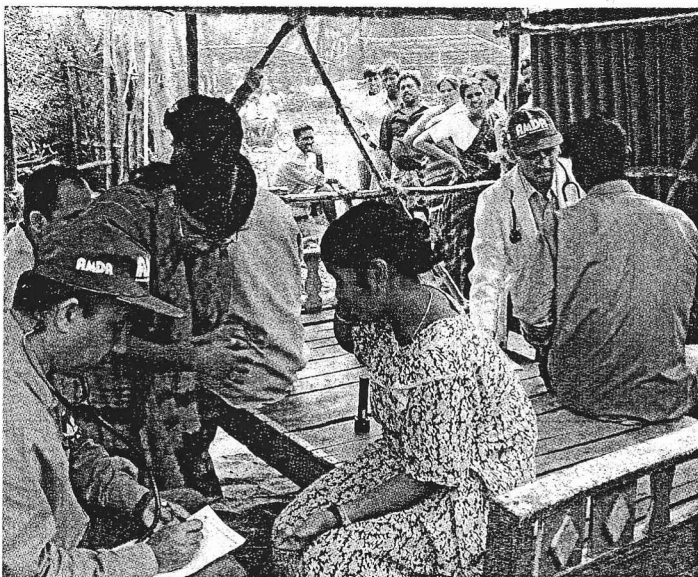
現地支部主導で即応態勢

東部そして南部の三地域
にはスリランカ、カナ
ダ、ニュージールランドの
各支部と日本から、イン
ドのチェンナイにはイン
ド、ネパール、バンクラ
デシユの各支部と日本か
らのチームが、AMDA
多国籍医師団として救援
活動を実施している。

宗教、民族そして文化
は異なっているも、人の
役に立ちたい気持ちに変
わりはないことをししみ
みと再確認した。

国際社会の取り組みに
先駆けて、AMDAは地
震発生当日から緊急救援
活動を開始している。こ
れを可能にしたのは各支
部の日ごろの活動で醸
成した信頼関係である。

信頼関係は電話一本で緊
急救援活動体制を動か
す。その精神は「困った
ときはお互いさま」の相
互扶助と「現地のことは
現地に任せる」という現
れる。



津波被害を受けたインド・タミルナドゥ州で巡回診療に当たる
AMDAスタッフ=14日 (AMDA提供)

城七子看護師をインドネ
シアでの救援活動に派遣
してくださったことも併
せて感謝したい。

「沖縄県とAMDAが
一緒に行動し、苦勞を共
にすることにより尊敬と
信頼を築く」という第二
回沖縄平和賞授賞式の時
の公約を少しでも実現さ
せていきたい。世界平和
へ向かって沖縄とAMDA
の真のパートナーシッ
プの始まりの鼓動を感じ
ている。

地主導である。

相互扶助の精神は援助
を受ける側のプライドを
傷つけない。共に苦勞す
る過程で尊敬と信頼を築
く精神でもある。現地主
導は現地支部の価値判断
ときはお互いさまの相
互扶助と「現地のことは
現地に任せる」という現
れる。

そして多国籍ネットワ
ークは大量のスタッフの
投入を可能にする。IT
は常に後からくる。ここ
で昨年の第二回沖縄平和
賞の受賞にあらためて感
謝したい。副賞の一千方
円が私に大胆な決断をさ
せてくれた事実。そし
てAMDA沖縄県支部長
の大仲良一先生には、大
規模な多国籍医師団
の投入と活動には大量の

資金が必要となる。しか
し、緊急救援活動の募金
は常に後からくる。ここ
で昨年の第二回沖縄平和
賞の受賞にあらためて感
謝したい。副賞の一千方
円が私に大胆な決断をさ
せてくれた事実。そし
てAMDA沖縄県支部長
の大仲良一先生には、大
規模な多国籍医師団
の投入と活動には大量の

沖縄タイムス社は、今月から毎月第4日曜日の
総合面、昨年、第2回沖縄平和賞を受賞した
国際医療援助団体AMDA(アムダ、アジア
医師連絡協議会)の菅波茂理事長による「AM
DA活動報告 救える命があればどこへでも」
を連載します。救援活動の現場から見える平和
の危機、沖縄への提言などを伝えます。